



道

学校の教育目標
「ともに学び、
心豊かで
たくましい
子供の育成」

第58回運動会に向けて

校長 松田 弘人

今年の夏（6月～8月）の日本の平均気温は平年を2.36度上回り、1898年の統計開始以降で最も高くなり、史上最も暑い夏を更新したようです。9月に入ってから高温の日が続きましたが、最近は朝晩の気温も下がり少しずつ秋の気配が感じられます。今後も熱中症対策等を徹底しながら、日々の教育活動を行っていきますので、どうかご協力よろしくお願いします。

さて、2学期は、運動会や学習発表会等の大きな行事がある最も長い学期であり、子供たちだけでなく先生方にとっても共に学び、大きく成長できる時期です。9月8日の結団式では、各団のリーダーが決意表明を行い、応援練習が本格的に始まりました。下級生も6年生の真剣な姿から何かを感じとったのか、一生懸命に声を出したり動きを合わせたりしていました。後日、私は応援練習を終えた各団の応援団長と団長に「どうして応援団長になったのか？」「団長として苦勞していることや意識していることは何か？」を聞きました。応援団長からは「最後の学年だから下級生をまとめて優勝したいから」「一年生の頃から憧れていてやりたかったから」「自分たちで応援を引っ張っていきたいから」「これまで出せなかったものを最後の運動会で出したいから」と一人一人の思いを聞かせてもらいました。団長からは苦勞とともに意識していることとして「下級生をまとめること」「みんなに正確に伝えること」「全員が整然とすること」「下級生が楽しくできるようにすること」を教えてもらいました。目標に対する思いが強ければ、私たちは前を向いていくことができ、その思いが目標を達成する可能性を高めてくれます。また、目標が大きいほど、その道のりは長く険しいものになりますが、何度でもあきらめずにチャレンジして、ダメだと思ったら新しいやり方を考えることが次につながります。このような経験を積み重ねていくことで、心も体もどんどん強くなって成長していきます。私の問いかけに対して真剣なまなざしで語ってくれた6年生の姿からは、運動会当日への期待感とともにこの2年半の大きな成長を感じることができました。

明日は、児童会スローガン「一致団結 東部っ子！優勝目指して走りぬけ！」のもと、東部っ子一人一人が、結果だけでなくこれまでの努力の過程を思い出しながら、最後まで全力で取り組んでくれることを願っています。その経験が次へ進むための強い心と体をつくり、大きな成長へとつながるはずです。保護者や地域の皆様には、子供たちの頑張りとそれを支える先生方の姿を見ていただき、チーム東部小学校に温かい声援をよろしくお願いします。



〈全校での合唱練習の様子〉

アクションプランの取組経過について（お知らせ）

今年度も、子供たちが、より充実した学校生活を送ることができるように**アクションプラン**を設定し、取り組んでいます。1学期の取組結果をお知らせします。（9月1日現在）

	重点課題	数 値 目 標	目標達成率
1	進んで本を読む児童の育成	・ 80%以上の児童が、各学期の設定した学年目標冊数の本を読む。	達成率 （全） 76.3%
2	しっかりと黙働清掃に取り組む児童の育成	・ 80%以上の児童が、黙働清掃に取り組む。	達成率 （全） 81.4%
3	進んで体力づくりに取り組む児童の育成	・ 80%以上の児童が、毎月げんきっこチャレンジ強調週間に「「とやまげんきっこチャレンジ！」」に取り組み、コインを年間280枚獲得する。	達成率 （全） 44.4%

【考察及び今後の取組】

【学習指導】

今年度は、「進んで本を読む児童の育成」に向けて、読書習慣の定着を重点的に取り組んだ。学年ごとの発達段階を考慮し、1・2年生は20冊、3・4年生は15冊、5・6年生は10冊と目標冊数を設定した。その結果、達成率は1・2年生で75.5%、3・4年生で86.0%、5・6年生で74.8%となり、特に3・4年生では高い達成率が見られた。目標に届かなかった低・高学年においても、多くの児童が意欲的に本を手に取り、読書に親しむ姿が見られた。特に高学年では、これまで目標達成が難しかった児童が、継続的に読書に取り組むことで達成できるようになるなど、読書習慣の広がりを感じられる成果もあった。また、朝学習の時間の図書室の活用やおすすめ本の紹介など、日常的に読書に触れる機会の工夫が、児童の意欲向上につながったと考えられる。

今後は、冊数の目標だけでなく、内容面にも目を向けながら、読書への関心や楽しさをさらに高める工夫が求められる。引き続き、読書を通して主体的に学ぶ姿勢の育成を図っていきたい。

【生活指導】

全体的に80%の目標を上回る結果となった。今年度は期間を決めて「ピカピカ週間」の間に集中して黙働清掃に取り組む、その期間の自己評価を結果として集計することにした。昨年度とは違い、班のリーダーからの評価が入っていないため、あくまでも自己評価であるが80%を上回ることができた。概ね多くの児童が黙働清掃を意識できているように感じるが、低学年を中心についつい私語が増え、掃除の手が止まってしまう場面がある。2学期以降は、担当教員による子供たちの清掃活動の様子の見守りや指導を強化したり、清掃活動の振り返りの場で指導や助言を積極的に行ったりするようにしたい。また、教員からの指導の強化に併せて、児童会から黙働清掃の意識を高めるような集会の企画や、呼びかけ運動を増やしていくようにしたい。

「掃除をさせられる」ではなく、「自分たちの過ごす場所をきれいにしたい」と児童自身が感じることができるよう教員の声かけ、児童会からの働きかけを意識していきたい。

【体力づくり】

全体的に目標の80%を大きく下回る結果となった。今年度は月末に体力づくり強調週間を設け、アプリ「とやまげんきっこチャレンジ！」で1日8枚、1学期間で80枚のコイン獲得を目標とした。児童のやらされ感を軽減し、進んで取り組めるようにするために運動の種類の多様化に加え、大休憩昼休み問わず自分の好きな時間に取り組めるようにした。しかし、取組み方の自由度を上げた結果、意欲的に取り組む児童とあまり取り組まない児童の差が大きいうように感じられた。また、タブレットを起動してコインを獲得するということが身に付いておらず、運動の習慣はあるもののコインの獲得ができていない児童も多くいた。

2学期以降は事前に自分が取り組みたい運動を考えさせる時間を設け、選んだ運動に取り組ませるように休み時間を中心に声かけを行っていく必要がある。活動の様子を見ながら励ましの声かけをすると共にアプリの起動及びコインの獲得を徹底させたい。

今後も一人一人が目標達成できるよう励ましていきたいと思います。ご協力をお願いします。